

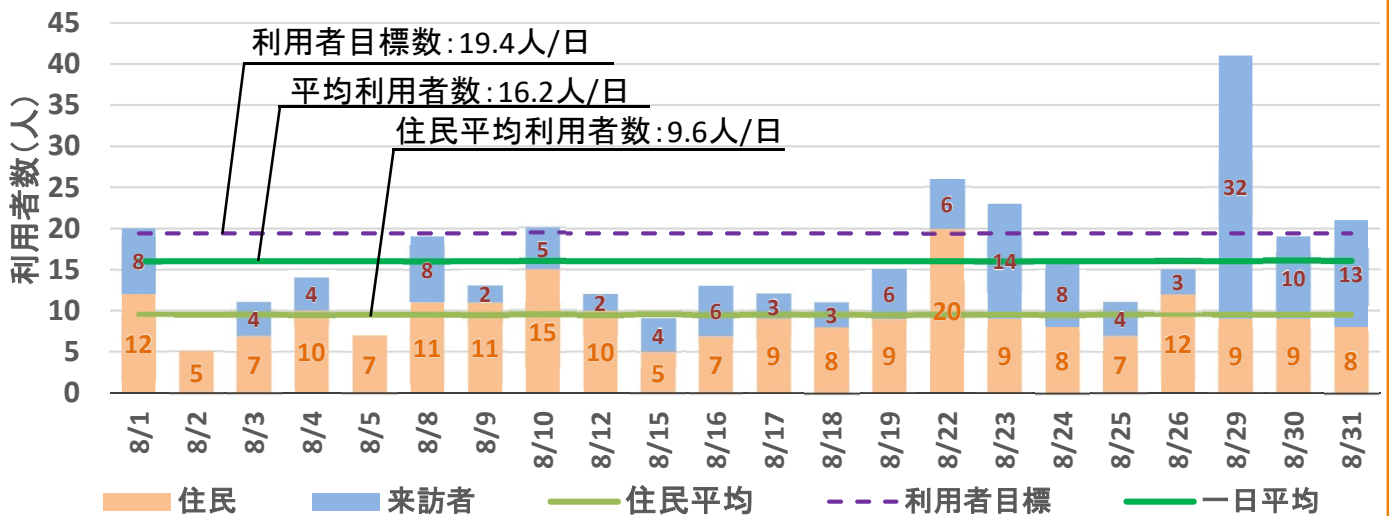


考える会通信 30号

ぐるりんあきうのご予約は、(有)秋保交通(ぐるりんあきうセンター)まで
予約の電話:022-393-5912 ※はじめに「ぐるりん号の予約です」とお伝えください。

ぐるりんあきう利用者数(住民・来訪者別)の推移

- ・8月の住民1日あたり平均利用者数は9.6人と、前月(11.3人)に比べ利用は減少した。
- ・8月の平均利用者数は1日あたり16.2人と、8月の利用者目標数19.4人を下回った。



厳しい夏の暑さも和らぎ、秋風を感じるこの頃です。観光シーズンを前に、「ぐるりんあきう」は今日も元気に町内を駆け巡っています。

「ぐるりん」の8月の総走行距離は、3,284kmでした。これがどのくらいかの距離かというところ、面半分まで調べてみたところ、秋保温泉を出発し日本列島を南下し、九州の宮崎県宮崎市まで行って、また戻ってくる、往復の距離に相当します。

宮崎までの道中であれば、刻々と変わる街や里の風景、海沿いの爽快感を味わいながらの運転でしょうが、なにせ「ぐるりん」は秋保町内だけの移動。そう変わらぬ景色に飽きもせず、担当ドライバーさん達は本当によく走ってくれています。ご苦労様です。

8月にご利用頂いた利用者数は355名、運行本数は204便でした。1日平均の利用者数は16.2名です。それぞれのお客様が、それぞれのご用事を「ぐるりん」を利用してなされていると思うと、感慨深いものがあります。

走行距離、利用者数、運行本数は、どれだけ地域の方々に貢献できたかを測るバロメーターです。これらの数値を伸ばしていく努力は必要ですが、今後は質も充実させていくことが重要です。2030年までの到達目標である、持続可能な開発目標(SDGs)を視野に、秋保地区で営むタクシー会社としてその達成に向けた取り組みを一層進めていきたいと考えています。

ぐるりんあきう8月の実車距離

(有)秋保交通 代表取締役
 青野 邦彦

★「考える会通信」は、町内会の協力をいただき、秋保町内にお住まいの皆様へ配布させていただきます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



9月の考える会 役員会レポート

9月14日に考える会役員会を開催しました。会議では、愛子延伸に向けたタクシー事業者との調整内容等について話し合いを行いました。

◎愛子延伸について

愛子のタクシー事業者には、事業の実施についての理解は得ているが、運行経費の交渉が長引いていることに関して、今回の交渉内容について議論し、今後も粘り強く交渉を続けていくこととしました。

◎利用状況について

町内会ごとの利用動向を把握するため、次回より利用者の推移を集計に加えることとしました。



役員会の様子

宮城交通

里センターから長町南駅・太白区役所前へ出発する時刻表

6:57 7:57 9:09 9:58 10:57 11:59
13:02 14:03 15:57 16:56 18:01 19:23

※斜体は長町駅東口が終点、他は県庁市役所前が終点

長町南駅・太白区役所前から里センターへ出発する時刻表

7:20 8:03 8:23 9:23 10:23 11:02
13:02 13:51 15:02 16:02 16:40 18:02
21:00

※斜体は秋保中学校が終点、他は森林スポーツ公園が終点

※里センターから長町南駅間の所要時間は概ね35分



タケヤ交通

里センターから仙台駅前へ出発する時刻表

6:52 8:19 9:25 10:25 11:25 12:19
13:19 14:25 15:25 16:19 17:19 18:16
19:16

仙台駅前から里センターへ出発する時刻表

8:30 9:30 10:30 11:30 12:30 13:30
14:30 15:30 16:30 17:30 18:30 19:30
20:30 21:50

※里センターから仙台駅間の所要時間は概ね35分



市営バス

里センターから愛子駅へ出発する時刻表

6:40 9:18 9:42 10:53 14:07 15:17
16:02 18:54

愛子駅から里センターへ出発する時刻表

8:17 9:05 13:18 17:17 18:18 19:23
20:12

※斜体は上ノ原が終点、他は野尻町北が終点

※里センターから愛子駅間の所要時間は概ね15分



考える会へ参加した感想

仙台高等専門学校 専攻科1年 奥山 天心

インターンシップ実習の一環として、考える会の会議に参加させていただきました。実習では、秋保地区の地域交通(ぐるりんあきつ)への乗車もでき、極めて貴重な体験ができました。

ぐるりん号へ乗車してみた感想は「とても乗りやすい車両」でした。入口が大きく、車両に乗る為の空間が広く、スムーズに着席できます。車体下部からはステップが自動で出現するので、高齢者等の足を動かすのが不得手な方でも身体に負担をあまりかけないで乗車することが可能です。車内には近隣地域のカフェや食事処の情報が載っているチラシやパンフレットが置いてあるので、移動中も退屈しませんでした。個人的には、車窓から見える秋保の自然が綺麗だったので、到着まで景色を眺めていてもいいと思います。

会議では、直近数ヶ月の利用者数の変遷や利用者層の分析報告から始まり、運行内容をより改善していくための話し合いを行っていました。私は運営状況について詳細に知っていた訳ではなく、内容を追うことで手一杯でしたが、インターンシップで学んだ仙台市全体での都市計画とはまた異なり、より地域の雰囲気を感じられ、地区住民が参加している様子が色濃く出ていたと思います。

広々とした空間



ステップで乗り降りが楽!

秋保の情報がいっぱい



■発行：秋保地区の交通を考える会 会長 及川 純一

電話 022-399-2133

■支援機関：仙台市 都市整備局 地域交通推進課

電話 022-214-8495